

令和5年7月吉日

関係機関の長 殿

弘前大学大学院保健学研究科長  
齋藤 陽子  
(公印省略)

弘前大学大学院保健学研究科主催「令和5年度 被ばく医療研修」の開催  
について（通知）

拝啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本研究科の教育・研究につきましては、平素から格別のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、弘前大学大学院保健学研究科では、本学が重点分野として掲げる「被ばく医療」の教育研究と地域連携及び国際化の推進を目的として「被ばく医療人材育成推進プロジェクト」を展開しており、その一環として平成22年度から継続的に緊急被ばく医療短期教育プログラム「被ばく医療研修（旧名称・現職者研修）」を開催しております。

今年で通算13回目となる本研修は、現職の看護職者及び診療放射線技師を対象としており、緊急被ばく医療に必要な基礎的知識を習得し、他職種と連携・協働しながら適切な対応と安全管理ができる医療職者の育成を目的としております。

つきましては、ご多用の折り誠に恐れ入りますが貴職下職員の皆様への周知にご協力を賜れば幸いです。

敬具

【本件担当】

弘前大学保健学研究科 総務グループ（桑田）  
〒036-8564 青森県弘前市本町66-1  
TEL: 0172-39-5518 FAX: 0172-39-5912  
E-mail: hh\_hh@hirosaki-u.ac.jp

## 令和5年度 被ばく医療研修 開催案内

弘前大学大学院保健学研究科では、本学が重点分野として掲げる「被ばく医療」の教育研究と地域連携及び国際化の推進を目的として「被ばく医療人材育成推進プロジェクト」を展開しており、その一環として平成22年度から継続的に緊急被ばく医療短期教育プログラム「被ばく医療研修」を開催しています。

本研修は、被ばく医療や放射線に関する基礎的知識の習得、他職種との協働意識の向上を目的とした初学者が学びやすい入門的内容となっており、講義や実践的な演習の他、放射線被ばく事故を想定した受け入れ医療処置に関する机上演習や学習者同士のディスカッションの時間を設けております。

令和5年度は、Web参加と会場参加の2パターンで開催いたします。それぞれ異なるプログラムをご用意しておりますので、参加方法は、「①Web参加」・「②会場参加」・「③Webと会場の両方参加」から選択可能です。初めて被ばく医療を学ぶ方、放射線の基礎知識の習得や復習をお考えの方、また、他職種とのチーム連携や教育ネットワークの構築に興味のある方にお勧めの内容となっておりますので、お気軽にご参加ください。

1. 開催日時及び開催形式	Web参加型 (Zoom)	令和5年9月2日(土) 9:00~17:30
	会場参加型	令和5年10月15日(日) 9:00~17:40
		会場：弘前大学保健学研究科(青森県弘前市本町66-1)
<input type="checkbox"/> お申し込みの際に、「①Web参加」・「②会場参加」・「③Webと会場の両方に参加」の3つから参加方法を選択可能です。各講義・演習の内容は別紙のプログラムをご確認ください。 <input type="checkbox"/> 事前学習としてeラーニングによる学習プログラムを実施していただきます。 詳しくはプログラムの「事前学習：eラーニング」をご覧ください。		
2. プログラム	別紙参照	※Web参加型と会場参加型ではプログラムが異なりますのでご注意ください
3. 対象者・定員	看護職者および診療放射線技師	<Web参加型>30名 <会場参加型>20名
4. 申し込み締切	<Web参加型> 令和5年7月26日(水) <会場参加型> 令和5年8月31日(木)	<input type="checkbox"/> 先着優先で定員に達し次第受付終了となります。お早めにお申し込みください。
5. 申し込み方法	事前申し込み制となります。下記の専用フォームからお申し込みください。  「令和5年度 被ばく医療研修」申し込みフォーム <a href="https://forms.office.com/r/jsmqcXSbjG">https://forms.office.com/r/jsmqcXSbjG</a>	
6. 受講料	無料	
7. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研修の修了者には修了証を発行いたします。</li> <li>・講師及び講義のタイトルは一部変更になる可能性があります。ご了承ください。</li> <li>・会場(対面式)で参加される方は、パンツスタイル、スニーカーなどの動きやすい服装でご来場ください。</li> <li>・本研修は原子力規制庁が実施する「原子力災害医療中核人材研修」とは異なりますのでご注意ください。</li> </ul>	
◎お問い合わせ	弘前大学保健学研究科 総務グループ(担当・桑田) 〒036-8564 青森県弘前市本町66-1 E-mail: hh_hh@hirosaki-u.ac.jp Tel: 0172-39-5518(内線5518) 事業ウェブサイト: <a href="https://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/">https://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/</a>	

弘前大学大学院保健学研究科  
令和5年度 被ばく医療研修 プログラム

【Web参加型】 令和5年9月2日（土）

08:30~09:00	受付
09:00~09:15	開講式・ガイダンス
<b>講義 1</b> 09:15~10:15	「原子力災害医療と体制作り」 原子力災害の概要、原子力災害医療体制に関する実際を解説します
<b>講義 2</b> 10:20~11:20	「原子力災害医療—受け入れ体制作り」 原子力災害時の受け入れ体制作りについて、GSCATTTを中心に解説します
<b>演習 1</b> 11:25~12:15	「防護服着脱方法」 被ばく患者受け入れ時の防護服着脱方法を実践します (防護服を郵送：ご自宅等で実践していただきます)
12:15~13:15	昼休み
<b>演習 2</b> 13:15~13:55	「傷病者の受け入れ準備」 傷病者を受け入れる際の設定と人員配置、役割についてグループワークを行います
<b>演習 3</b> 14:00~15:30	「傷病者の受け入れ対応」 外部汚染のある患者の搬入から一般病室への退室までの一連の流れを、 動画を見ながらグループワークを行います
<b>演習 4</b> 15:40~17:00	「皮膚の汚染部位の除染」 放射性物質により汚染した健常皮膚の除染処置の仕方を実践します。また、創傷部位の 処置の仕方を講義します（除染キットを郵送：ご自宅等で実践していただきます）
17:00~17:20	アンケート・質問への回答
17:20~17:30	閉講式

弘前大学大学院保健学研究科  
令和5年度 被ばく医療研修 プログラム

【会場参加型】令和5年10月15日（日）

08:30~08:45	受付
08:45~09:00	開講式・ガイダンス
<b>講義1</b> 09:00~10:00	「放射線災害から復興の道のりと現状」 2011年の事故以降、福島県の住民はどのような問題に直面してきたのか、どのように克服してきたのか、現在どのような問題があるのかなどを解説します
<b>演習1</b> 10:10~11:10	「サーベイメータの取扱い」 傷病者の処置時に必要なサーベイメータの取り扱いと測定方法を実践します
<b>演習2</b> 11:20~12:20	「創傷部の除染」 放射性物質により汚染している創傷の処置の仕方を実践します
12:20~13:20	昼休み
<b>演習3</b> 13:20~14:20	「受け入れ体制作り」 傷病者の受け入れについて、CSCATTTを参考に話し合います
<b>演習4</b> 14:30~16:00	「汚染・被ばくを伴う傷病者の受け入れ対応」 外部汚染のある患者の搬入から、一般病室への退室まで、一連の流れを実践します
<b>演習5</b> 16:10~17:10	「受け入れ対応の振り返り」 傷病者の受け入れ対応（演習4）を振り返り、課題や学びを話し合います
17:10~17:30	アンケート・質問への回答
17:30~17:40	閉講式

# 弘前大学大学院保健学研究科 令和5年度 被ばく医療研修 プログラム

## 事前学習：eラーニング

講義1	「放射線の基礎」 放射線の単位や性質、身の回りの放射線などの基本的な知識について解説します	弘前大学大学院保健学研究科 細田 正洋
講義2	「放射線の生物影響の基礎」 放射線による生物への影響などの基礎的な知識について解説します	弘前大学大学院保健学研究科 吉野 浩教
講義3	「放射線防護の基礎」 基本的な放射線防護や放射線規制などの基礎的な知識について解説します	弘前大学大学院保健学研究科 細川 洋一郎
講義4	「放射線の人体影響」 外部被ばく、内部被ばくによる放射線の人体への影響について解説します	弘前大学大学院保健学研究科 柏倉 幾郎
講義5	「緊急被ばく医療の原則」 緊急被ばく医療の原則とその概要について解説します	弘前大学大学院保健学研究科 齋藤 陽子

	放射線の基礎 (10分動画)	演習動画
動画	01 放射能と放射線 02 放射性物質 (Bqと半減期) 03 放射線の単位 (GyとSv) 04 人体影響の発生機構 05 外部放射線防護の3原則	参考1 防護服の着方 参考2 防護服の脱ぎ方 参考3 患者の受入から一連の流れ (必須)

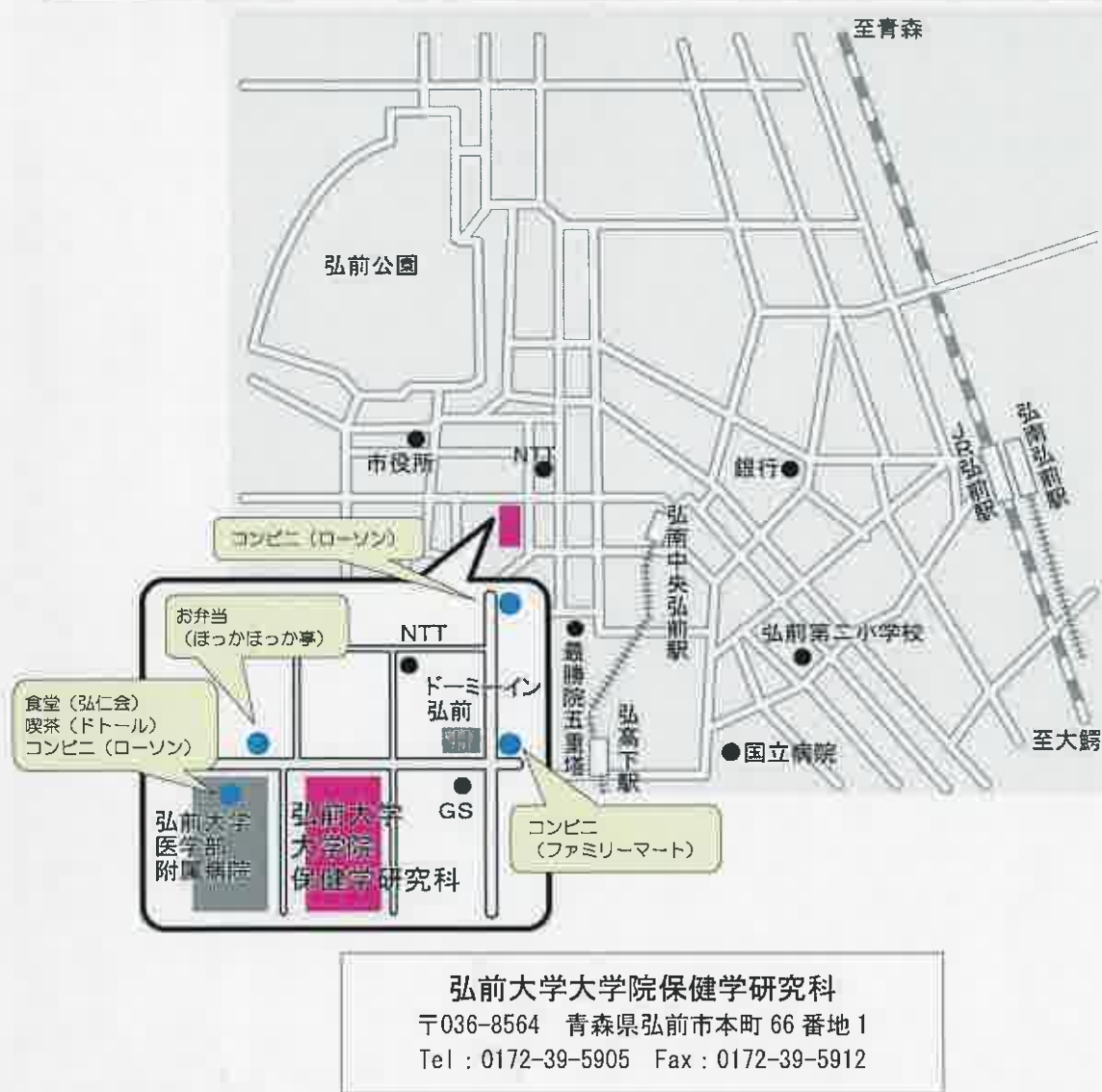
### 【eラーニングについて】

- 事前学習として、インターネットを利用したeラーニングによる学習プログラムを実施します。eラーニングの開講期間は8月～10月末までの約3か月間を予定しており、受講者には別途受講IDを送付します。
- 各講義の受講時間の目安は、おおよそ20分です。
- 主な動作環境は下記のとおりです。その他ご不明な点については別途お問い合わせください。

動作環境		2023年3月現在
<b>パソコン</b>		
Windows10 / 11	Google Chrome 107.0.5304.88/89 Microsoft Edge 107.0.1418.35 Internet Explorer 21H2(OSビルド 19044.2130) Microsoft Edge(IEモード) 107.0.1418.35	
Mac OS 13.2.1	Google Chrome 107.0.5304.110 Safari ver. 16.3	
<b>スマートフォン</b>		
Android 11/12/13	Google Chrome 107.0.5304.91	
iOS 15.6.1	Safari ver. 15	
iOS 16.1.1	Safari ver. 16	
<b>タブレット</b>		
Android 9/12	Google Chrome ver. 107.0.5304.91	
iPadOS 15.7.1	Safari ver. 15	
iPadOS 16.3.1	Safari ver. 16	

【お問い合わせ先】 弘前大学保健学研究科 総務グループ TEL0172-39-5518 hh\_hh@hirosaki-u.ac.jp

## 会場へのアクセス



### 公共交通機関でお越しの場合

- ◆ 弘南バス(JR 弘前駅前から約 20 分)
  - ◆ 駒越経由藤代行き(6 番のりば)「大学病院前」下車
  - ◆ 桔梗野又は金属団地経由桜ヶ丘行き(8 番のりば)「本町」下車
  - ◆ 市内循環 100 円バス(土手町循環)のりば「大学病院前」下車 ※10:00~18:00(10 分間隔で運行)
- ◆ タクシー(JR弘前駅から約 10 分)
  - ◆ キャンパスが複数ございますので、タクシーをご利用の際はドライバーに「大学病院隣の保健学研究科」とお伝えください。

### 自動車でお越しの場合

- ◆ JR 弘前駅より(所要時間 約 10 分)
- ◆ 東北自動車道弘前・大鰐 IC より(所要時間 約 30 分)

### 駐車場について

- ◆ 駐車場をご用意しておりますが、数に限りがございますので、お車での来場はなるべくご遠慮ください。